

# デジ研のあゆみ

1999 ●任意団体 山梨地域資料デジタル化研究会の活動を始める。

2000 ●10月～2001年3月山梨県田富町立図書館の地域資料整理を受託

2001 ●9月ホームページ開設、地域資料の収集とデジタルアーカイブの構築・公開開始 ●10月16日山梨県より**特定非営利活動法人の認証取得** ●11月8-10日「全国マルチメディア祭inやまなし」出展 ●公開フォーラム「デジタルミュージアムからユビキタスミュージアムへ」開催

2002 ●1月～2004年3月山梨県立文学館の収蔵資料の整理とデジタルデータ入力作業を受託 ●7月公開シンポジウム「デジタルで変わる21世紀の博物館」開催 (NPO文化資源活用協会共催) ●7月ハケ楯ことばの学校主催「デジタル版山梨方言集2002」活用説明会への協力 ●山梨ことばの会より「デジタル版山梨方言集2002」の制作を受託 ●8月山梨県立博物館に関する意見交換会開催 ●9月山梨県立博物館について山梨県知事に政策提言 ●10月「全国デジタルアーカイブ大会 in 石川」に丸山副理事長を派遣 ●11月21-23日「2002 山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展 (NPO文化資源活用協会と共同)

2003 ●2月6日「熊本住民ディレクター岸本さんの話を聞く会」参加 ●2月12日山梨県・県ボランティア協会共催NPOセミナーにおいて小林理事長、中澤会員が事例発表 ●9月「NPOと協働を推進するための基本方針(案)」を山梨県県民生活課へ提出 ●9月2-3日山梨県の平成15年度「山梨の魅力メッセンジャー認定講座」に協力。山梨県立女子短期大学の対象講座に講師5名を派遣 ●9月から鈴木助成事業財団の助成を受け『甲斐之陣』事業スタート ●石和町の神楽をDVDに収録。「2003山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」に一部出展 ●11月「メディア体験学習研究会」の開催 ●11月20-22日「2003山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展 (NPO文化資源活用協会と共同) ●山梨県「やまなしITプラン策定委員会」理事長委員協力・提言 ●山の中湖情報創造館設立準備支援 ●山の中湖村民による蔵書の選書ツアーを実施 ●山梨ことばの会より「デジタル版山梨方言集2003」の制作を受託

2004 ●新たな学習拠点PFI (Private Finance Initiative) 事業勉強会に参加 ●4月1日～2007年3月31日指定管理者として山の中湖情報創造館の運営を開始 ●7月6、7日「山梨の魅力メッセンジャー認定講座」へ協力し、講師として4名を派遣 ●7月10日 山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●10月～2005年3月山梨県立博物館のデジタルアーカイブ整備事業 (山梨県史の調査収集資料整理) の受託 ●山梨県立図書館より図書館員向けIT講座の受託 ●10月1日「山梨NPO情報ネット」の開設日に合わせ、県内の他のNPOと連携し山梨日日新聞にNPO全面広告を掲載 ●平成16年度(2004年) やまなし女性リーダー養成海外研修実行委員会への参加 ●山梨県立図書館の移転に係る調査研究 ●11月24-26日第6回図書館総合展出展 ●11月25-27日「2004山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展

2005 ●3月5-6日指定管理者のイベント Lib+Live2005 山中湖フォーラム」開催。6日午後より関東IT推進NPO連絡協議会第9回セミナー「NPOのそ・こ・ぢ・か・ら」をLib+Live2005との合同セミナーとして開催 ●7月2-3日 Lib+Live2005 夏・natu -開催 ●7月9、10日 山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●8月5日「産学官で考える指定管理者制度を学ぶフォーラム」の開催 ●11月24-26日「2005山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展 ●11月30日、12月1-2日「第7回図書館総合展」出展 ●7月～10月大泉金田一春彦記念図書館の資料整理業務 (故金田一春彦氏の資料整理) の受託 ●国立国語研究所より「デジタル版山梨方言集2004」の制作作業 ●「関東ICT推進NPO連絡協議会」の総会、セミナー参加 ●eメディア研究会との研究交流

2006 ●6月～2007年3月大泉金田一春彦記念図書館の資料整理業務 (故金田一春彦氏の資料整理) の受託 ●6月10日山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●11月20-22日「第8回図書館総合展」出展 ●11月22-24日「2006山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展 ●12月16日外部講師を招いての勉強会。テーマは「デジタルで伝えよう、固有の文化、人の心」 ●「関東ICT推進NPO連絡協議会」の総会、セミナー参加 ●国立国語研究所より「デジタル版山梨方言集2005」の制作作業

2007 ●早川町奈良田方言調査・記録 (現在も調査中) ●3月10-11日「図書館の未来をつくるワークショップ Lib+Live2007 山中湖」開催 ●4月1日～2010年3月31日 指定管理者として山の中湖情報創造館の運営を継続 (第二期) ●6月9日山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●9月10日新泉立図書館を考えるシンポジウム「デジタルアーカイブで結ぶ知の創造」開催 ●7月～9月山梨県立博物館企画展「人と動物の昭和史」への地域資料貸出協力 ●11月15-17日「2007 山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展

2008 ●1月30日新泉立図書館に関する提言書の提出 ●6月7日山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●内田宏氏写真アーカイブ着手 ●7月19日わだつみ平和文庫ボランティア作業協力 ●10月1日～平成21年3月31日 わだつみ平和文庫 資料整理業務 ●10月25日わだつみ平和文庫見学会 ●11月20-22日「2008山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」出展/プレゼンテーション ●12月8日「地域の話題の市場をつくるシンポジウム『貴重な映像を後世に～山梨コンテンツの可能性』」開催

2009 ●2月8日 大月市文化財保存事業協力 (映像による伝統文化保存事業) ●5月25日デジ研公式サイトリニューアル ●6月17日内田宏氏の写真資料4,000点およびデジタルデータを山梨県立図書館に納品 ●6月20日山梨県地域情報化推進協議会より総務省の情報推進月間中のイベントとして「メディアリテラシーワークショップ」の企画運営を受託 ●7月18-31日中山梅三氏写真資料貸出 (韮崎市制施行55周年記念事業) ●8月6日-9月30日内田宏氏写真資料貸出 (明野歴史民俗資料館) ●9月18日長野大学 地域と教育の情報研究会にて活動プレゼン「デジタルアーカイブの課題を考える」

2010,2011,2012... to the Future...

## 地域資料デジタル化研究会のビジョンとミッション

# vision 目的

過去の記憶を明日への希望と活力にするために、  
デジタル技術で過去と現在と未来を繋げる

# mission 使命

地域資料デジタル化に関する研究と実践

地域資料デジタル化に関する普及啓発

図書館・博物館等の学習施設の情報化および  
サービスに資する事業

その他、本会の目的を達成するために必要な事業

# Digi-KEN

特定非営利活動法人  
地域資料デジタル化研究会  
<http://www.digi-ken.org/>

〒406-0041 山梨県笛吹市石和町東高橋 133 常徳寺内

Tel 090-2491-4085 FAX 055-261-7360 mail [office@digi-ken.org](mailto:office@digi-ken.org)

# デジタルアーカイブをご存知ですか？

デジタルで記録保存する、家族のアルバムから地域の記録、人類の記憶のことをいいます。デジタルアーカイブには、過去の活動を見ることにより、懐かしさに癒され、明日への希望を生み出す力があります。

私たちと一緒に作ってみませんか？

過去の思い出はただ懐かしむためだけではありません。省みる事で未来への希望や活力を生み出す力を持っています。

私たちNPO法人地域資料デジタル化研究会（デジ研）は、デジタル技術をもって過去や現在の出来事を地域の記憶として共有し、未来への希望や活力づくりに向けたデジタルアーカイブに取り組んでいます。

インターネットが普及し、ホームページやブログなど誰もが情報を発信できる時代になりましたが、私たちが目指す「市民の市民による市民のためのデジタルアーカイブ」は、情報発信を一步進めて情報共有の時代へと移り変わってきています。一枚の古い写真に写っている思い出は、デジタル化によって地域の歴史として共有の記憶となり、地域における貴重な財産にすることができるのです。

私たちの活動に参加し、あなたの手で地域の歴史づくりに取り組んでみませんか？

デジ研では、ご家族のアルバム整理やメモリアルアーカイブから地区や地域の記録などの資料整理を承ります。デジタル技術で目録づくりからデジタルアーカイブ構築、ウェブサイトづくりなどを承ります。

お気軽にご相談ください。090-2491-4085

## あなたのすぐそばにある デジタルアーカイブ



### 個人アーカイブ

私自身の生きてきた記憶のアーカイブ。父母から受け継ぎ、子どもたちへ受け継ぐ。デジ研ではまず「私」から始めるデジタルアーカイブを提案します。



### 家族アーカイブ

家の中に埋もれている記憶はありませんか？最近では携帯電話やデジカメの中に写真を保存したままだったりします。そんなデジカメ写真をデジタルアーカイブにしてみませんか？



### 地域アーカイブ

行政区や商店街、地域コミュニティの記録も、デジタルアーカイブにすることで、地域の共有の財産になっていきます。昔から住んでいる人と新しく住み始めた人の交流の機会をつくります。



### 企業アーカイブ

創業から今日までの企業活動を意識して記録することは少ないかもしれません。しかし困難にぶつかったとき、活力の源はそれまでの企業の歴史に埋もれていることがあります。創業者の一枚の写真が、明日の企業の元気になることもあるのです。



### 行政アーカイブ

市町村史もひとつのアーカイブです。昨今の自治体の活動を記録し、保存し、住民に伝えることは大きな役割でもあると思います。歴史や文化、自然や環境、農業や商工業などの記録は、自治体として後世に伝える大事なことなのです。



### 学校アーカイブ

人生に疲れたとき、卒業アルバムに癒されることはありませんか？学校の記憶には、そんな力があるのです。デジカメで写す日々の行事の記録をデジタルアーカイブにすることで、学校の活力につながっていきます。

### NPO デジ研が制作公開するアーカイブ

#### 地域資料デジタルアーカイブ「甲斐之庫（かいのくら）」

●教材として無償公開

デジ研会員は、生涯学習の写真・映像教材として地域資料デジタルアーカイブ「甲斐之庫（かいのくら）」を制作し、インターネットで公開しております。学校教育や社会教育、また個人学習の教材として、無償で活用することができます。 <http://www.digi-ken.org/>

●あなたもアーカイブ作成に参加しませんか！

自分も、身の回りの地域資料をデジタルアーカイブで公開してみたいという方、デジ研の「甲斐之庫」で一緒に勉強しながら発表してみませんか。

■公開資料：榑都美夫詩集／路傍の神・道祖神／富士のせいくらへ電子紙芝居／郷土風景－創作版画と其の作り方－／伊東けい子染色作品集／水底の翳／クラーク博士の弟子・大島正健記録／桑原浜子の世界／笹子追分人形・大月こども歌舞伎の記録／甲府城山門復元記録／山梨県笛吹川の聖牛／甲府城・甲府駅周年の瀬風景アルバム／みんなの山梨アルバム／よみがえる戦後山梨の記憶など昭和時代の山梨県民生活を写真で紹介。

つながる、ひろがるアーカイブ



and more...

それだけではありません ...

▶ **資料整理：** 古文書や古い書簡、故人の資料整理などお受けいたします。

▶ **デジタルアーカイブの構築：** 古い資料や古い写真、映像資料(ビデオや8mmフィルム)などをデジタルアーカイブ化いたします。

▶ **学習施設プランニング：** 図書館や博物館などの学習施設のプランニングをします。個人文庫から公共図書館、企業図書館、大型図書館などのコンセプトづくりからプランニングいたします。

▶ **学習施設指定管理者：** 2004年4月から「山中湖情報創造館(図書館)」の指定管理者をはじめ、NPO法人として行政と地域住民との協働モデルの指定管理者を目指します。

▶ **学習施設関連イベント：** 図書館や博物館など、これからの学習施設を考えるイベントや司書の卵たちの合宿などの人材育成イベントを企画し実施いたします。

▶ **ICT講習会：** パソコンの基本から今さら聞けない用語解説、さらには市民メディアや地域メディアづくりなどのICT関連の講習会やセミナーを開催いたします。

▶ **ICT系体験学習：** 子どもから大人まで、情報通信技術を体験しながら学習するワークショップを開催します。

▶ **地域コンテンツ** 地域メディア、市民メディア、ホームページ、インターネット放送など地域コンテンツの掘り起しや情報共有活動、メディア活動を支援します。

その他、デジタル系の自主事業、受託事業を行っております。ICTを活用して何かに取り組みたいとお考えでしたら、お気軽にご相談下さい。

※ ICT：情報通信技術（Information & Communication Technology）の総称

### ●会員募集

地域資料のデジタル化や図書館・博物館などの学習施設づくりに関心のある方を募集しております。

正会員	賛助会員
年会費 5,000円	年会費一口 10,000円